



のら
動カ
現場
運現

全日本おばちゃん党 結党！

谷口 真由美

オッサンばかり！

それは昨年9月のことだった。ふとテレビをつけると、民主党の代表選と自民党の総裁選が繰り広げられ、連日その様子が映し出されていた。また、同じころ大阪では維新の会が、次の総選挙に向けて公約となる「維新八策」を発表していた。さらに、尖閣諸島をめぐる中国や台湾との外交問題もますます拡大しつつあった。どこもかしこも、「オッサン一色」。スズメ（茶）にハト（灰）にカラス（黒）の色の衣装を身にまとい、勇ましいことばかりを叫び、お互いを罵り合い、拳句の果てに矛先は弱者に向かう。思わず画面に向かって「なんやねん、これ。どこを見てもオッサンばかりやんか！」と叫んでしまった。

なんともウンザリ、ガッカリしたとき、ソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）のフェイスブックに思わず冗談で呟いた。「オッサン政治劇場、もう飽きた。おばちゃん党でもつくつたらるか（笑）」と。その私の冗談に、とりわけ女性の友人たちが「ええやん」「そうやで」「ほ

んまや」とワーツと賛同してくれたことから、そのままの勢いでその日のうちにフェイスブック内に「全日本おばちゃん党（All Japan Obachan Party・AJOP・エージョップ）」というグループを立ち上げた。性自認が女性ということだけが「黨員」になる条件だ。

全日本おばちゃん党の目的

全日本おばちゃん党の目的は、おばちゃん全体の底上げと、オッサン政治にシヤレとユーモアのあるツッコミを入れていくことだ。ここで私のいう「オッサン」とは、「独善的で上から目線でとにかく偉そうで人の話を聞かない男性」を指す。「オッサン」ではない男性は「おっちゃん」である。ちなみに、「オッサン」に類する女性を「オバハン（＝女性の皮をかぶったオッサン）」と呼んでいる。

おばちゃん全体の底上げは、実はおばちゃんとしての自戒の念もある。今まで、おばちゃん達は「政治なんて難しいことはわからない」「難しいことは夫に任せておこう」ということが多かったのではないだろうか。日本国憲法に男女平等条項が記載され、普通選挙が行なわれて既に66年が経過したにも拘らず、昨年末の衆議院解散総選挙の結果は女性議員が8%という比率にまで落ちた。このような結果になった責任は、オッサンばかりが悪いのではない。おばちゃん達も、オッサンに任せ政治を放置しすぎたきらいがある。

シヤレやユーモアでのツッコミ

しかし、おばちゃん達が積極的に放置していただけない。排除されてきたことも間違いない事実だ。「おばちゃんは難しいこと知らんでいい」という具合に。でももう、排除されたままにせずグイグイとオッサン政治に入り込んでいくしかない。8%しかない女性議員比率は異常であるにも拘らず、この異常さに気が付かない人が意外に多い。しかし、逆の比率（女性が92%、男性が8%の国会）だったら、気持ち悪いとは思わないだろうか？ この気持ち悪さに気が付くこと、そして難しいことにも正面から向き合って、シヤレやユーモアでツッコミをいれるということ、おばちゃん全体の底上げをはかりたいと考えている。

難しい問題にシヤレやユーモアでツッコミをいれるというのは、実はとても高度なテクニクがある。単なるボヤキでも、悪口でも、陰口でもなく、オッサンと同じ土俵に立たず、あくまでオッサンのアホな言動や行動にツッコミをいれることによって、より多くのおばちゃんが社会のアホらしさに気付くはずだ。

政治政党？

よく聞かれることだが、政治政党になる気はない。フェイスブックだけの集まりではあるが、仲間は今や3千人近くになった。そのなかでの会話は、台所事情から海外事情まで



おばちゃん「はっさく」

昨年11月には大阪で「始動式」を行ない、おばちゃんによる「はっさく」も発表した。いかにも当たり前のことを書いていると共感を

と幅が広い。この井戸端会議をすること、今まで気づかなかったことに気が付いたというおばちゃん、はじめて自分の言葉で自分の意見をいったというおばちゃんも多くいる。「おばちゃん」という名称に抵抗感のある人も多いが、そもそも「おばちゃん」が蔑称になっていること自体、オッサン社会の弊害だと思っている。「おばちゃん」で何が悪い。フランス語の「マダム」は日本語に訳したら「おばちゃん」だ。他に訳しようがない。女が若くなかったらダメなんていうオッサンのロリコン土俵にあがること自体が馬鹿らしい。

をよび、多くの人が取り上げてくださった。英語、フランス語、中国語、韓国語というように海外メディアにも多く取り上げられた。
【全日本おばちゃん党 はっさく】
【その1】うち

の子もよその子も戦争には出さん！

【その2】税金はあるところから取ってや。けど、ちゃんと使うなら、ケチらへんわ。

【その3】地震や津波で大変な人には、生活立て直すために予算使ってな。ほかのことに使ったら許さへんで！

【その4】将来にわたって始末できない核のごみはいらん。放射能を子どもに浴びさせたくないからや。

【その5】子育てや介護をみんなで助け合っていきたいねん。そんな仕組み、しつかり作ってや。

【その6】働くもんを大切にしいや！ 働きたい人にはあんじょう (いい具合に) してやって。

【その7】力の弱いもん、声が小さいもんが大切にされる社会がええねん。

【その8】だからおばちゃんの目を政治に生かしてや！

「腹太の方針」・「女性手帳」・橋下発言翻訳プロジェクト

今年3月には、「東京場所」を開催し「腹太の方針」も発表した。これもあちらこちらで「ウケて」いる。ようやく、おばちゃんが政治を語る時代がきたのだと。また、オッサン政治に愛のあるツツコミも行なっている。5月の初旬は、『女性手帳』導入案に関する声明、日本維新の会・橋下共同代表の従軍慰安婦・在日沖縄米軍性風俗活用発言の抜粋

を「橋下さん、翻訳こんにやく食べてって」プロジェクト」と称し、各国語に翻訳した。

おばちゃん達の今後

参院選に向けてもいろいろ聞かれるが、日夜おばちゃん達の井戸端会議は話題も勢いもとどまることをしらず、寝不足の日々だ。少し先ではあるが、3年後には「全世界おばちゃんサミット」を大阪で開催する予定である。愛と勇気とおばちゃんが、これからの世界を変えるのである。

(たにぐち・まゆみ／大阪市生まれ。博士＝国際公共政策・大阪大学。専門は国際人権法、ジェンダー法、憲法。大阪国際大学准教授。シャレで作った団体「全日本おばちゃん党」代表代行)

★全日本おばちゃん党のホームページ: <http://osakanet.web.fc2.com/AJOP/>

